

JAFFE2024年度活動報告

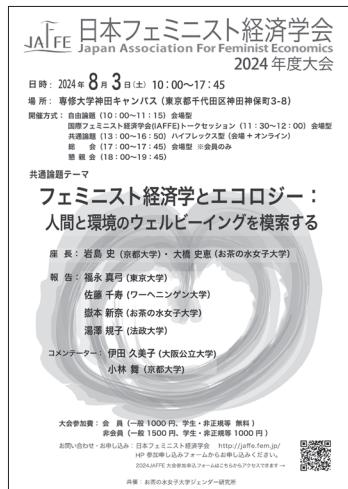
2024 年度の学会活動について、1 大会・総会、2 研究会・研究活動、3 幹事会の順で報告します。

1 大会・総会

2024 年度大会は、2023 年度大会と同様、自由論題と総会については、会場での対面開催、共通論題については、ウェブ会議アプリ Zoom を使用したハイブリッド開催としました。また午前中の自由論題の報告の後に、トークセッションとして、国際フェミニスト経済学会 (IAFFE) の大会報告の時間 (11:30~12:00) を設けました。2024 年 7 月 3~5 日にイタリア・ローマで開催された IAFFE の大会に参加した JAFFE 会員から、現地の様子や感想などが報告されました。30 分間の限られた時間ではありましたが、IAFFE の会員でもあり、オランダから来日されていた、ウェンディー・ハーコート氏からも発言があり、これまで IAFFE の大会に参加したことのない JAFFE の学会員にも、大会の様子や雰囲気などが共有されました。今後、IAFFE 大会の日本招致に向けた機運を高めるよい機会になったと感じます。

共通論題では、「フェミニスト経済学とエコロジー：人間と環境のウェルビーイングを模索する」と題して、自然環境と人間社会の関係をフェミニスト視点から再想像するという野心的な試みがなされました。フェミニスト政治経済学、歴史学、環境社会学を専門とする 4 人の報告者と 2 人のコメンテーターが登壇し、エコロジーという、領域横断的なテーマに対し、フェミニストの批判的な関心をどのように掲げができるのか、白熱した議論がなされました。当日は、会員 65 名、非会員 50 名が参加し、テーマへの関心の高さを感じさせるものとなりました。また、自由論題では、5 名の会員が報告しました。2023 年度大会から開始した、若手研究者に限定した交通費補助制度を 2024 年度も継続したこともあり、若手研究者からの積極的な応募もありました。当日はコメンテーターとのやり取りも活発になされ、今後の研究の発展に期待を感じさせるものとなりました。

総会では、幹事の改選をし、新体制がスタートしました。主要な議題として、日本学会議の協力学術団体の指定を受けるための申請について取り上げ、承認され、申請を行うこととなりました。



●大会日時、開催場所

2024年8月3日(土) 対面・オンラインのハイフレックス型開催(オンラインはウェブ会議アプリZoomを使用)、大会本部:専修大学(会場担当:板井広明)。

●大会プログラム(後述)

●2024年度大会総会議事次第

1) 2023年度活動報告・2024年度活動計画

・大会:2023年度大会(福岡女子大学)、2024年度大会(専修大学)

・学会誌発行:第8巻、第9巻

・若手研究者支援

・フェミニスト経済学ハンドブック翻訳・出版プロジェクト

・国際フェミニスト経済学会(IAFFE)日本大会準備会

・2023年度会計報告

・2023年度会計監査報告

・2024年度予算

2) 日本学術会議が指定する学術研究団体の申請について

3) 学会誌『経済社会とジェンダー』のJ-STAGE登録とオンライン公開時期について

4) 幹事・監査の交代について

5) その他

2 研究会・研究活動

2024年度は、共通論題の準備として、共通論題シンポジウム事前研究会を2回実施しました(①)。加えて、幹事会企画として、有斐閣から2024年8月に出版された、上野千鶴子・江原由美子編『挑戦するフェミニズム——ネオリベラリズムとグローバリゼーションを超えて』の中で、JAFFE会員が執筆した章を読む研究会をオンラインにて開催しました(②)。読書会は10月から毎月1回のペースで開催しましたが、毎回20名程度の参加者が集まり、執筆者と報告者、参加者との間で、活発な議論が交わされました。次年度以降も、学会員の皆様の関心に沿うような、研究会や研究活動を企画していくたいと考えております。

①共通論題シンポジウム事前研究会

● 1回目 開催日：2024年5月22日（水）オンライン（ウェブ会議アプリZoom）

・報告者：福永真弓・佐藤千寿・湯澤規子・嶽本新奈

・研究会の目的：JAFFE 共通論題での議論の方向性を確認すること

● 2回目 開催日：2024年7月10日（水）オンライン（ウェブ会議アプリZoom）

・報告者

佐藤千寿（ワーヘニンゲン大学）

「ケアリング経済に向けて：ポスト資本主義フェミニストポリティカルエコロジーの視点から」

湯澤規子（法政大学）「女性の社会活動とヒューマン・エコロジー：19世紀～20世紀のアメリカ合衆国と日本を事例として」

嶽本新奈（お茶の水女子大学）「反公害／環境運動で見落とされてきたケア労働：茨城石炭火力発電所建設反対運動を事例として」

福永真弓（東京大学）「あわいものから見る世界：サーモンとエコフェミニズムの交わるところ」

・コメンテーター：小林舞（京都大学）、伊田久美子（大阪公立大学）

②『挑戦するフェミニズム——ネオリベラリズムとグローバリゼーションを超えて』研究会

・開催日

2024年10月28日（月）第2章（足立真理子執筆）報告：藤原千沙

2024年11月13日（水）第8章（金井郁執筆）報告：田宮遊子

2024年12月9日（月）第5章（大沢真理執筆）報告：左高慎也

2025年1月29日（水）第3章（伊田久美子執筆）報告：蓑輪明子

2025年2月13日（木）第1章（上野千鶴子執筆）報告：定松文

3 幹事会

今年度は、以下の通り8回の幹事会を開催し、その他、必要があれば、メーリングリストを通じて、学会運営を行いました。また、大会の総会時に、会員の皆様から承認いただいた、日本学術会議の協力学術団体の指定を受けるための申請については、学会事務局を通じて、2024年11月に行い、2025年2月27日、日本学術会議事務局より指定通知を受け取りました。なお、日本学術会議のサイト「協力学術研究団体一覧」の「日本フ」の欄に、「日本フェミニスト経済学会」が掲載されており、「学会名鑑」にも掲

載されております。今後も、他の学会と共に日本の学術の発展のために役割を果たしていきたいと考えております。

【関連サイト URL】

日本学術会議のサイト「協力学術研究団体一覧」(https://www.scj.go.jp/ja/info/link/link_touroku_na.html)

学会名鑑 (<https://gakkai.scj.go.jp/organizations/G02451>)

【幹事会開催日】

第1回 2024年4月22日(月) オンライン(ウェブ会議アプリZoom)

第2回 2024年4月28日(日) オンライン(ウェブ会議アプリZoom)

第3回 2024年5月22日(水) オンライン(ウェブ会議アプリZoom)

第4回 2024年7月15日(月・祝日) オンライン(ウェブ会議アプリZoom)

第5回 2024年8月3日(土) 大会後対面開催

第6回 2024年9月24日(火) オンライン(ウェブ会議アプリZoom)

第7回 2024年12月5日(木) オンライン(ウェブ会議アプリZoom)

第8回 2024年2月28日(金) オンライン(ウェブ会議アプリZoom)

(文責:長田華子)

大会プログラム

日本フェミニスト経済学会 2024年度大会のご案内

●日時:2024年8月3日(土) 10:00~17:45

●開催形式:自由論題 会場型、共通論題 ハイフレックス型(会場+オンライン)、総会 会場型(会員のみ)

●会場:専修大学神田キャンパス1号館1階(自由論題)、3階(共通論題)(東京都千代田区神田神保町3-8)

[交通手段]「神保町」駅(都営三田線、都営新宿線、半蔵門線)出口A2より徒歩3分、「九段下」駅(東西線、都営新宿線、半蔵門線)出口5より徒歩1分、「水道橋」駅(JR)西口より徒歩7分。

●参加費:会員 一般 1000円、学生・非正規等 無料、非会員 一般 1500円、学生・非正規等 1000円。

懇親会参加費:一般 4500円、学生・非正規等 3500円

会場:専修大学10号館16階 相馬永胤記念ホール

大会参加申込は8月1日(木)23:59迄に右上のQRコードから、総会後の懇親会の参加申込は7月21日(日)23:59迄に右のQRコードからお手続きください。当日会場での参加手続き・お支払いはできません。



大会参加申込



懇親会参加申込

●スケジュール

9:30 受付開始 1号館 104 室前

10:00~11:15 自由論題 会場型

第1報告 10:00~10:35、第2報告: 10:40~11:15

・A会場 (1号館 104) 司会: 長田華子 (茨城大学)

①藤野敦子 (京都産業大学) 「現代日本の『夫の転勤』が妻の育児孤独感、希望子供数に与える影響——因果媒介分析の4分解法による分析」

コメンテーター: 松川誠一 (東京学芸大学)

②澤木朋子 (明治大学大学院) 「オーストラリアのジェンダー格差における一考察——Awardによる賃金設定を中心に」

コメンテーター: 金井郁 (埼玉大学)

・B会場 (1号館 105) 司会: 大野聖良 (お茶の水女子大学)

①巣内尚子 (岐阜大学) 「中途型非正規移住時の収入の性別・年齢格差——台湾・日本のベトナム人移住労働者の比較から」

コメンテーター: 堀芳枝 (早稲田大学)

②姜喜代 (同志社大学大学院) 「マリアローザ・グラ・コスタとイタリア家事労働賃金要求委員会は何を目指したのか? 新聞『家庭労働者』から読み解く」

コメンテーター: 足立眞理子 (お茶の水女子大学)

・C会場 (1号館 106) 司会: 平野恵子 (横浜国立大学)

伊藤鞠 (同志社大学大学院) 「フェミニズムから見た科学と『政治の feminization』」

コメンテーター: 左高慎也 (日本学術振興会)

11:30~12:00 国際フェミニスト経済学会 (IAFFE) トークセッション

・D会場 (1号館 3階) 会場型

12:00~12:55 休憩時間

13:00~16:50 共通論題

・D会場 (1号館 3階) (会場+オンライン)

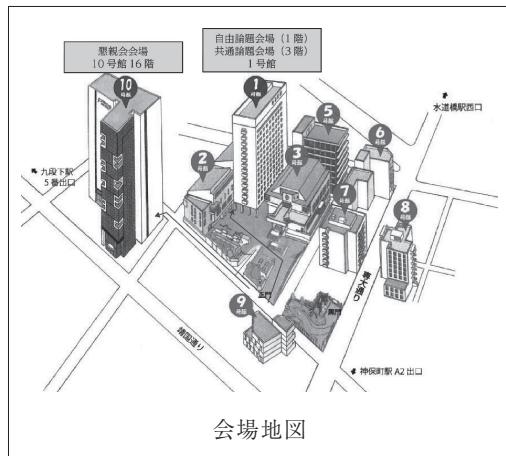
「フェミニスト経済学とエコロジー: 人間と環境のウェルビングを模索する」

座長: 岩島史 (京都大学)・大橋史恵 (お茶の水女子大学)

13:00~13:05 趣旨説明 座長: 岩島史 (京都大学)

13:05~13:30 報告1 福永真弓 (東京大学) 「人間以上の世界との関わりを倫理的に問う: エコフェミニズムの関係論的思考から」 (仮)

13:30~13:55 報告2 佐藤千寿 (ワーヘニンゲン大学) 「ケアリングエコノミーに



向けて：ポスト資本主義フェミニストボリティカルエコロジーの視点から」(仮)

13:55~14:20 報告3 嶽本新奈
(お茶の水女子大学)「反公害／環境運動における「女」を記述することの難しさ：蒂北火電建設反対運動を手がかりに」(仮)

14:20~14:45 報告4 湯澤規子
(法政大学)「エレン・スワロウ・リチャーズと WEIU：ヒューマン・エコロジーを再考する」(仮)

14:45~15:00 休憩、質問紙回収

15:00~15:15 コメント1 伊田久美子(大阪公立大学)

15:15~15:30 コメント2 小林舞(京都大学)

15:30~16:45 質問への応答とディスカッション

16:45~16:50 まとめと閉会の挨拶 座長 岩島史(京都大学)

17:00~17:45 総会 会場型

18:00~19:45 懇親会(10号館 16階相馬永胤記念ホール)

後援：お茶の水女子大学ジェンダー研究所

問い合わせ先：JAFFE ウェブサイト <http://jaffe.fem.jp/q>

◆本大会は非会員の方にも公開されています。関心のある方に広く周知していただければ幸いです。